

佐久管内の 令和元年東日本台風災害に係る治山事業

佐久地域振興局 林務課

令和元年10月、台風19号の豪雨により、東日本の広範囲に甚大な被害が発生しました。佐久管内では、長野県内の山地災害の約6割が集中する、かつてない大災害となりました。そのような災害から山を復活させ、また、今後の被害を防ぐため、治山事業が行われました。その一部をご紹介します。



2号崩壊地被災後



2号崩壊地

1号崩壊地

寺社 蕃松院



急斜面での作業



1号崩壊地被災後



2号崩壊地完了後



1号崩壊地完了後

事業名：災害関連緊急治山事業（完了）

箇所名：佐久市 字 蕃松院

被災内容（蕃松院地区）：

- 令和元年10月12日、台風19号の強風及び豪雨により、蕃松院の裏山で木が根返り倒木したことをきっかけに、山の斜面表層の土が崩壊しました。
- 崩壊土砂は斜面下の蕃松院及び市道へ流出しました。

工事内容：

- ①流失した表土を補うため、緑化工事を行いました。
- ②斜面が崩れる範囲がこれ以上広がらないように、地面に鋼鉄の棒を打ち込み、さらに鋼鉄のネットを張って地面を押さえる工事を行いました。

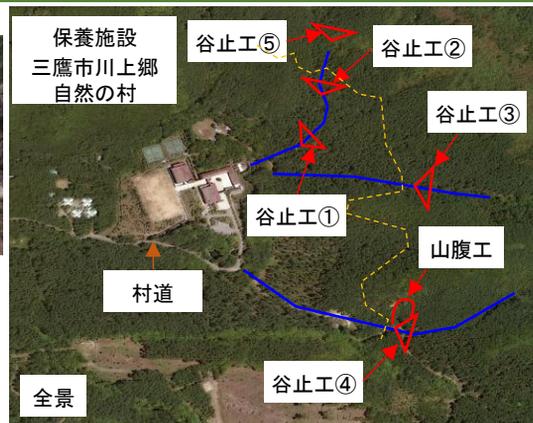
この箇所の東側、新海三社神社の裏山も同じように崩れたので、同様の工事を行いました。



内部



谷止工①着手前



保養施設
三鷹市川上郷
自然の村

谷止工⑤

谷止工②

谷止工③

谷止工①

山腹工

村道

全景

谷止工④

事業名：災害関連緊急治山事業（完了）
→林地荒廃防止事業（完了）

箇所名：川上村 白床

被災内容：

令和元年10月12日、台風19号の豪雨により、複数の沢で発生した土石流が体育館内部まで流入しました。

工事内容：

- 3か所の沢で5個の谷止工（治山ダム）を作りました。
- 土石流が流れた沢には、不安定な土砂がまだ残っているので、流れ出さないように谷止工により抑えます。また、急な沢を谷止工によって階段状にすることで沢の勾配を緩やかにして、土砂が流れる速さを遅くします。
- これによって、次の大雨での土砂流出を軽減します。



谷止工①完成後